平成27年度 北秋田市成人式

二十歳の誓い　輝かしい未来へ歩み出す

平成27年度北秋田市成人式が8月15日、北秋田市文化会館で開かれ、新成人たちが大人としての決意を新たにしました。

今年度の対象者は、平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた377人（鷹巣地区201人、合川地区78人、森吉地区66人、阿仁地区32人）。うち296人が出席し式典に臨みました。

式典には新成人のほか、市及び市教育委員会、市議会などの関係者、中学校卒業当時の恩師らが出席し、二十歳の門出を祝福しました。

式典終了後には、おもちゃ開発者で株式会社ウサギ代表取締役の高橋晋平さん（北秋田市出身）が、「楽しい人生を作るためのアイデア」と題して記念講演を行い、自身の経験に基づき、新成人にアドバイスを送りました。

「最初の一歩を踏み出せる強さを身に付けてほしい」　津谷永光市長

式典で津谷市長は「晴れの式典を迎えられました新成人の皆様、誠におめでとうございます。これまで皆さんは社会の中において未成年という立場でしたが、今後は、権利と義務を担う一人前の成人として、社会に参画していくこととなります。この大きな節目に成人になるということはどういうことなのかを自分自身に問いかけるとともに、皆さんの成長を支えてこられたご家族をはじめ周囲の方々に対する感謝の思いと、本日の皆さんの決意を忘れずに、しっかりと胸に刻んでください。現在、生活環境や社会構造が大きく変化する中で、人口減少や少子高齢化などにより地域の活力が失われ、格差社会が拡大する大変厳しい現実が目の前に迫ってきています。しかし、あらゆる試練を自分自身が大きく成長できるチャンスと捉えて、恐れることなく最初の一歩を踏み出すことができる強さを身に付けてください」などと新成人へ期待の言葉を述べました。

また、松尾秀一市議会議長、北林丈正県議会議員がそれぞれ「高い志や強い信念を持ち、幅広い視野で時代を見極め、直面する課題に柔軟かつ的確に対処していく力を身に付けてほしい」、「地方創生には新しい技術や発想が必要。皆さんの新たな発想でこの地域の魅力を発見し、この地域を元気にしてほしい」などと新成人を激励しました。

「可能性を信じてまい進することを誓う」　新成人代表　松橋絵利香さん

新成人を代表して松橋絵利香さん（阿仁出身）は「二十歳になり、大人の仲間入りをしたことで、社会での責任が増えたことを面倒に思う人もいるかもしれません。しかし、責任があるということは自分の人生の選択、決断は自由にできるということでもあります。自分次第でいくらでもチャンスが切り開けるのだと捉え、自分を前進させる力に変えていけるのではないでしょうか。先進国日本に生まれ、自然豊かな北秋田市で育ち、きちんと教育を受けることができた私たちには、できること、やるべきことがたくさんあると信じています。地域貢献や恩返しの仕方は人それぞれですが、今まで多くの方々に支えていただいた分、この日を境にこれからは私たちが支えていくことが一つの恩返しにつながるのだと思います。感謝の気持ちを忘れずに、成人としての決意を心に刻み、それぞれの持っている可能性を信じてまい進していくことを誓います」などと述べました。

あなたの将来の夢・人生の目標は？

4人の新成人に 二十歳の抱負 を聞きました

鈴木 彩音（あやね） さん　（伊勢町・会社員）〈鷹巣出身〉

今まで自分を支えてくださった全ての皆様に感謝の気持ちを忘れず、自分らしく常にチャレンジ精神で何事にも取り組んでいきたいと思います。これからも家族や仲間を大切にできる人でありたいです。

三浦 駿（しゅん） さん　（根森田・会社員）〈森吉出身〉

家族や友人、多くの方々に支えられてここまでこれました。成人式を迎えてより一層、責任感を感じます。まだまだ頼りないと自覚していますが、様々な場面での期待に応えられるような社会人になりたいです。

加賀谷 一誠（いっせい） さん　（仙台市・大学生）〈阿仁出身〉

家族をはじめ、様々な方の支えによって、成人式を迎えることができました。今後もお世話になった方々への恩返しができるよう、また、早く一人前の大人になれるよう努力していきたいと思います。

佐藤 紫誉子（しほこ） さん　（弘前市・大学生）〈合川出身〉

家族をはじめ、たくさんの方々に支えられ、成人の節目を迎えることができました。これからは良識のある社会人になれるよう、自分の言動には責任を持って頑張り、お世話になった方々に恩返しができるよう努めていきたいと思います。